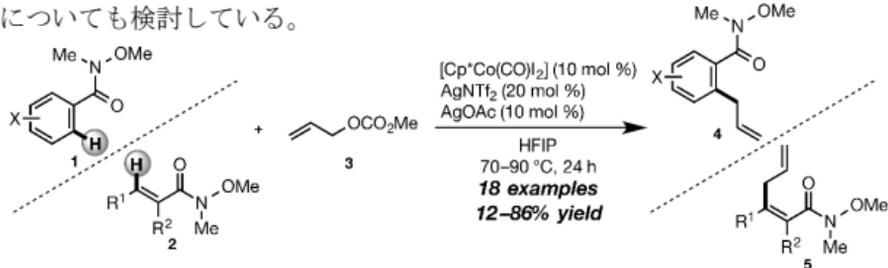


26C-am01S

Cp*Co(III)触媒による Weinreb amide を配向基とした C(sp²)-H アリル化反応
○河合 賢太郎¹, 田中 亮², 文野 優華², 吉野 達彦², 松永 茂樹² (¹北大薬, ²北大院薬)

【目的】 遷移金属触媒を用いた C-H 官能基化反応は, 反応工程数削減や原子効率の改善といった観点から有用である。しかしながら, 多くの C-H 官能基化反応では特殊な配向基を必要とすることから, その後の官能基変換が難しく, その合成応用は限定的である。一方 Weinreb amide はケトンやアルデヒドへの変換反応など, その合成的価値が非常に高いにも関わらず, C-H 官能基化反応への適用は Pd や Rh などの高価な金属を用いた数例にとどまっている。我々は Cp*Co(III)触媒を用いた C-H アリル化反応が Weinreb amide に対しても適用可能であることを報告しており¹⁾, 今回アリル化反応の収率向上を目指し, 検討をおこなった。

【方法・結果】 ベンズアミド誘導体である種々の Weinreb amide **1** に対して, C-H アリル化の検討をおこなった。反応剤としてアリルカーボネート **3** を用いると最高収率 86%でアリル化体 **4** が得られた。本反応はアクリルアミド誘導体 **2** に対しても適用可能であり, Z 体の skipped diene **5** が得られた。現在, 種々の官能基化反応についても検討している。



1) Bunno, Y.; Murakami, N.; Suzuki, Y.; Kanai, M.; Yoshino, T.; Matsunaga, S. *Org. Lett.* **2016**, *18*, 2216–2219.